

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

| | |
|-------------------------|--|
| 研究課題名 | 全人工膝関節置換術後患者における 2 ステップテストを用いた 定量的な歩行能力評価 ー院内歩行自立に関する基準値の作成ー |
| 当院の研究責任者 | 所 属：リハビリテーション室 研究者：政田 純兵 研究責任者：蔭山 聡司 |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の目的 | 全人工膝関節置換術後患者における歩行能力評価として 2 ステップテストを用いた基準値を作成し、術後早期の歩行自立 可否を判断する際に活用する |
| 調査データの該当期間 | 2019 年 2 月 1 日～2020 年 12 月 31 日 |
| 本研究の対象及び方法 (使用する試料等) | <p>1. 対象者</p> <p>(1) 初回の全人工膝関節置換術施行目的で入院した内側型膝 OA 患者</p> <p>(2) 本研究の参加について同意の得られた症例</p> <p style="padding-left: 2em;">以上 2 項目を全て満たす場合を選択基準とし、対象とする。</p> <p>・除外基準(以下の 5 項目の何れかに該当する場合)</p> <p>(1) 同意の得られなかった者</p> <p>(2) 反対側に全人工膝関節置換術を受けた者</p> <p>(3) 術後に腓骨神経麻痺や骨折等の合併症を生じた者</p> <p>(4) 既往に脳血管疾患や骨関節疾患があり、明らかな歩行障害を有する者</p> <p>(5) 測定値に欠損を有したもの</p> <p>2. 方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体機能として術前に膝関節可動域、膝関節筋力、10m 歩行速度、Timed Up and Go test(以下 TUG)、2 ステップテストを測定した。 ・ 精神的心理的要因の評価として、日本語版 Pain Catastrophizing Scale を使用した。 |

| | |
|--------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> カルテ情報から年齢、性別、BMI、運動に影響を及ぼす併存疾患の数を抽出した。 術後1週間を目安に安静時・関節運動時・歩行時の疼痛を Visual Analog Scale(以下 VAS)を用いて聴取した。同日に2ステップテストを用いて2ステップ値を算出し、歩行自立度について診療録より調査した。 |
| 試料・情報の 他の機関への提供 | なし |
| 個人情報の取り扱い | 本研究で得られる情報は、外付けハードディスクに管理され、特定の人のみ出入りする部屋で、鍵のかかったロッカーに入れ保管する。また、外付けハードディスクには主研究者しか分からないパスワードを設定し、ID 番号を入れ替え個人が同定できないように配慮する。結果の解析、公表に際しても個人が特定できないようにする。また本研究により取り扱う個人情報は、法律に基づき本研究遂行の目的以外には使用されない。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。 |
| お問い合わせ先 | TEL : 0742-24-1251 担当者：リハビリテーション室 政田 純兵 研究責任者：リハビリテーション室 蔭山 聡司 |
| 備考 | |